

私の近所にある古墳 ⑧

第三中学校 1年4組

氏名 宮部 紫花

私の近所にある古墳を直接たずねてみて
どうなっているか見てきました。

① 前二子古墳 (前橋市西大室) 日本キャンパック

前橋の専部に位置し、全長93m、高さ13m
の大きな古墳です。 大室公園内

上毛野氏の墳墓で毛野氏の祖と
される
崇神天皇の第一皇子 豊城入彦命の
墳墓とも言われています。



Q. あみかほど"こ"にいるでしょう?



A. まんかかたよん.

かきい! こたよん!

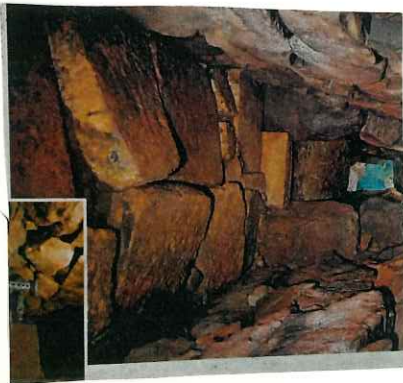


横穴式 入口

な・なかに入るとこわいです。oo

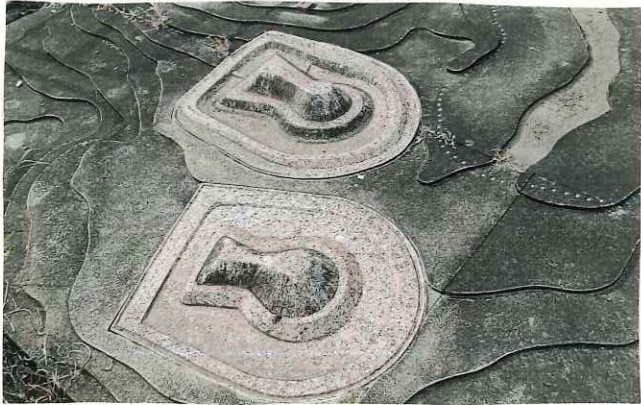


大王の毛がいました



② 中二子古墳 (前橋西大室)

大室古墳群の中で最も大きく立派な古墳



色々な
ものが
出ました



4つの前方後円墳を中心に 20数基の古墳から成り
群馬県でも他に例がないほど大規模な古墳
当時の豪族の威勢を感じさせます。



私もはにか(笑)



③ M-4号墳 (前橋市西大室)

大室公園内に全長35mの帆立貝式墳で
墳輪が入口に並んでいる
古墳時代の建物が面白い



従穴式住居



高庄式住居



平地式建物



④ お富士山古墳 (伊勢崎市安塚町)

伊勢崎市の安塚町(北部)に位置し、

5世紀前半 ~ 中頃に作られた県内で
8番目の大きさです。

全長125mで長持形石棺が有名で古墳の
後円部に置かれています。

砂岩製で全長 285cm

幅121cm 重さはなんと!
6.8トニもある

県指定 重要文化財 である

数多くの副葬品が出ました。



大きいです!



階段がたくさんありました



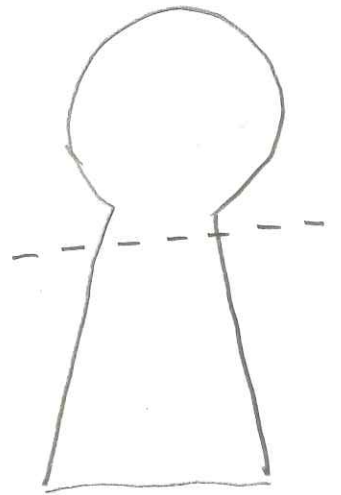
神社もあります

⑤ —ノ関古墳 (伊勢崎市本関町)

伊勢崎市の中央 本関町に位置し、全長50m
の帆立貝型古墳だったが
粗川の侵食により、全長28m
となってしまった

6世紀後半に作られて、南側に
入口がある

横穴式石室で伊勢崎市指定
史跡となっている



災害時に入れそう...



中がのぞけます

は約6m、奥室部の幅は約1.5m、高さは約2mです。石材には礫石安山岩の割石を使い、奥室には巨大な石を使用しています。石室は当時の地表面を埋り込んで造られており、外側には補強のための石組(控え積み)が行われ、天井石の周りは粘土で覆われていました。

墓室の入口は石でふさがれ、前面には墓室のような細長い前庭が設置されています。この前庭は幅が0.8mと狭く、狭き入口から下段墓石にむけてスロープ状に造られたもので、たいへん珍しいものです。遺物は石室内にはほとんどなく、前庭などから須恵器の高杯、提瓶が出土しています。



天井石

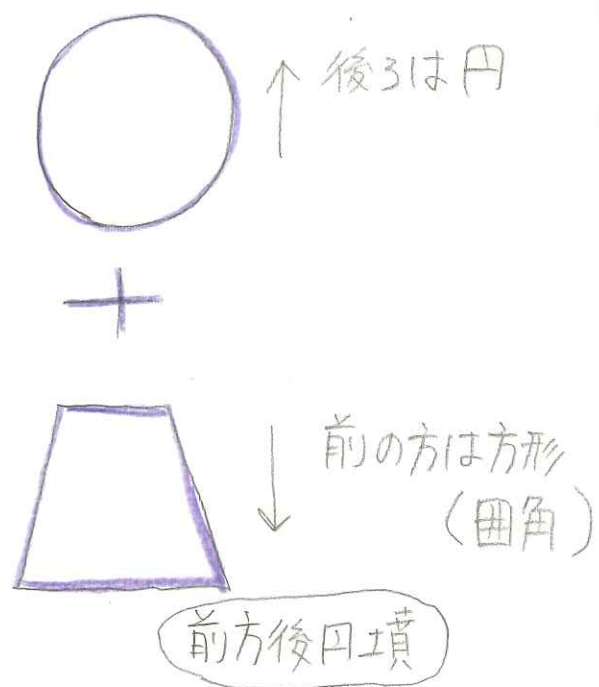
天井石は玄室と羨道を覆っていましたが、玄室部の三石だけが残され羨道部のもは失われていました。天井石は礫石安山岩の自然石を利用し、大きな形状にはばらつきがあり、一番奥の天井石は約4トンもの重量をもちました。



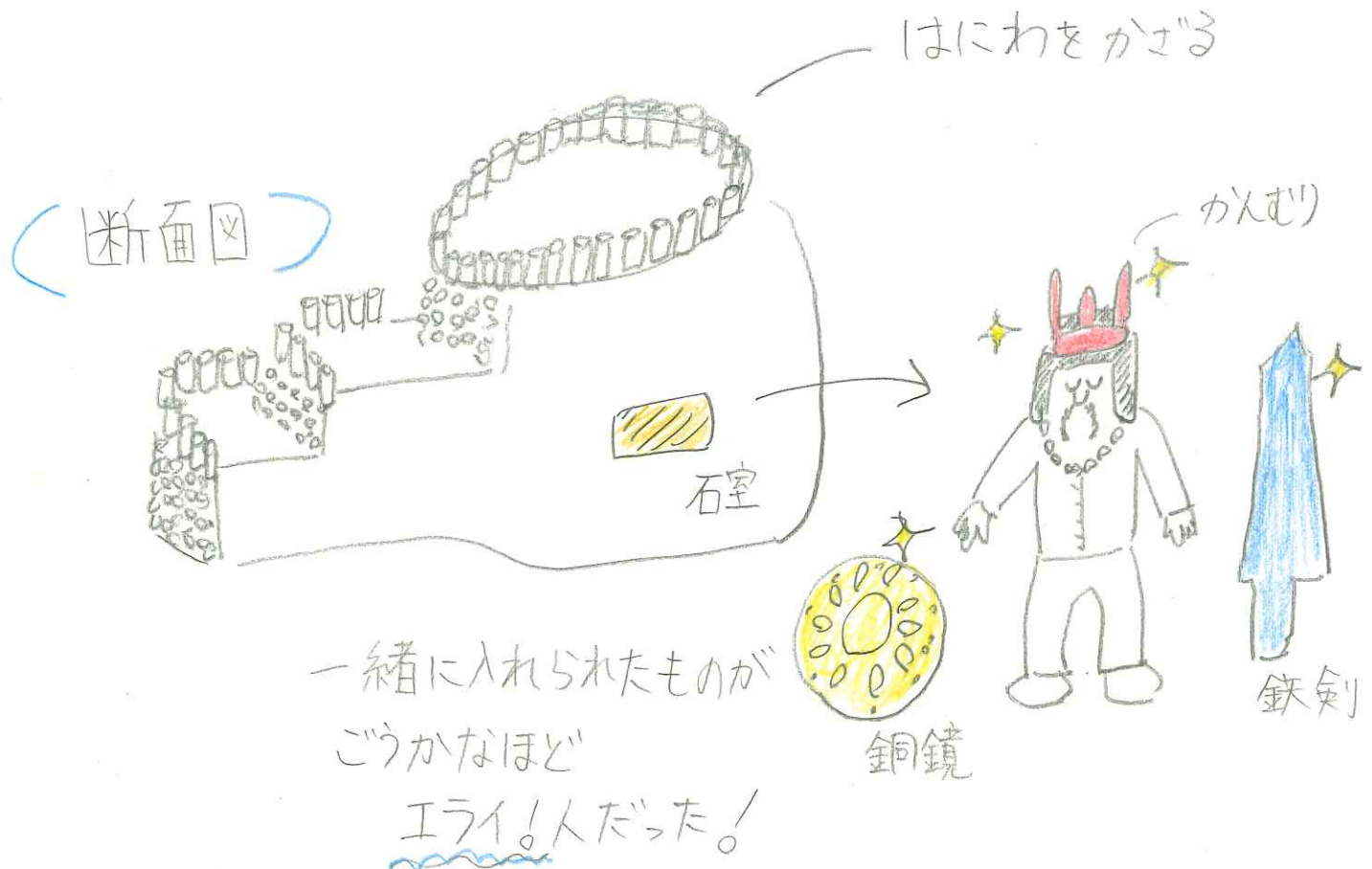
控え積み

石室を造る際、まず壁となる前庭や羨道を、一番下の礫石から順に数石積み上げます。その外側約1mのところも石を積み上げ、その間に石を詰め、隙間を砂で埋め、壁の補強を行います。この補強方法を控え積みといわれ、この土壁を控え積み壁、壁の間に埋められた礫石を控え積み石とします。

古墳はどのように作られたのか？



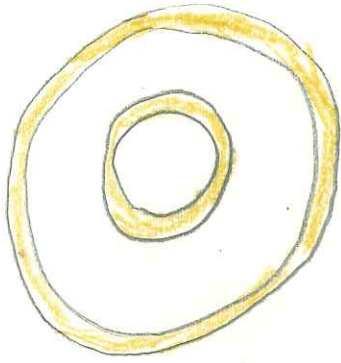
どうなっているのかな？



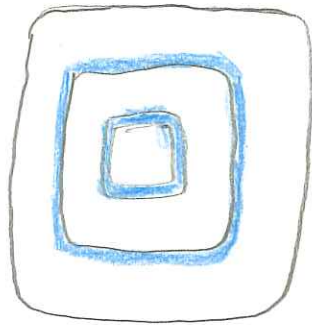
おまけ

古墳の種類

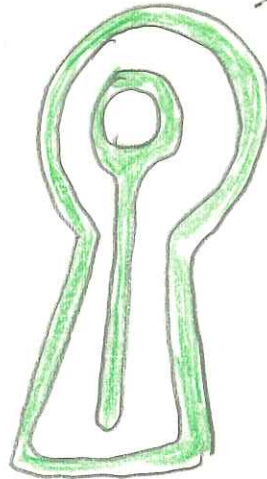
時代や身分、地域によつて、古墳の形も変わるのです。



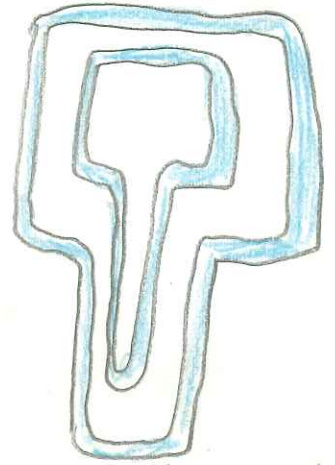
円墳



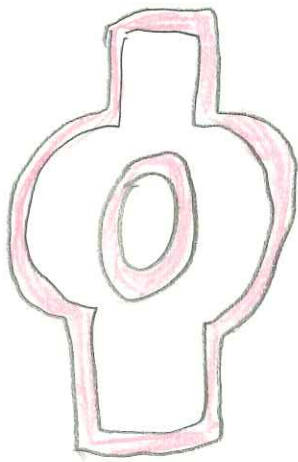
方墳



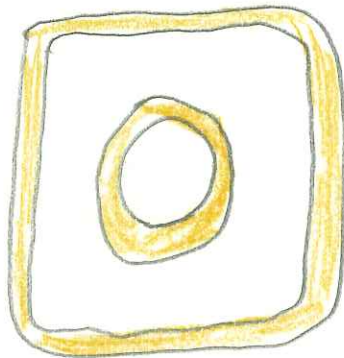
前方後円墳



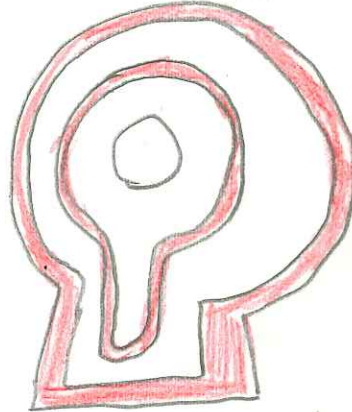
前方後方墳



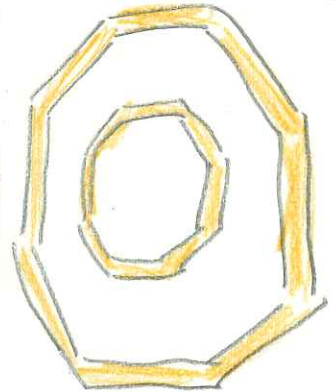
双方中円墳



上円下方墳



帆立貝式古墳



八角墳

こんなにも多くの種類の古墳がありました。

~まとめ~

実際に自分の足でその地に行くことで、少し興味がわいてきておもしろかったです。復元住居も見ることができ、昔の人達は色々な生活の知恵を絞って暮らしていたことに驚き、すごいなと思いました。また家族みんなで色々な所へ行き、調べ学習を楽しみたいと思います。

宮部 紫花